

第6学年 道徳学習指導案

平成22年10月26日(火) 5校時

指導学級 6年2組

指導者 6年2組担任 佐竹 朋子

1. 主題名

「上手に気持ちを表し、よい友達関係を」

2-(2) 思いやり

2. 主題設定の理由

(1) 価値について

小学校生活も残り半年となり、多くの児童は行事などを通して周囲の友達の大切さを実感してきた。互いに助け合い、支え合いながら生活していることへの感謝の気持ちも芽生えてきている。その中で、これまでは仲良く遊ぶ仲間を「友達」と認識していたが、それが次第に自分を理解し、支えてくれるというような精神的に強い絆で結ばれた友達を求めるようになってきている。

その反面、仲間から離れてしまう不安や、自分の行動や判断に自信がないために、児童同士の関係は「依存しあう関係」であったり、「リーダー的な友人の後を追うような関係」であったりと、多勢に流されることが多い。

そこで、この時期の児童に、周りの雰囲気に合わせて同調してしまうことで、他人を傷つける結果になる場面があることに気づかせ、その時に関わる意識や行動の仕方を学び、実践に生かそうとする心情を育てたいと考えた。

(2) 児童の実態

本学級の児童(男子16名 女子17名 計33名)は、素直で明るい児童が多く、また昨年度から持ち上がりのクラスである。地域に1つだけの小学校ということもあり、気心が知れている仲間同士の集団である。その一方で、過去の失敗や一度持った印象などに固執してしまう傾向にある。そのため友人間のトラブルも少なくない。男子は幼さが目立ち、感情的な言動で相手を傷つけてしまうことがある。その反面、女子は冷静に物事を判断でき、また思いやりのある行動できるようになった。男女とも団結力は強く、特に行事では力を発揮している。

本校の児童の特徴として、コミュニケーション能力や対人間関係能力、思いやりの心、礼儀やマナー、規範意識等の向上が大きな課題である。そこで、「ハートスキルプログラム」を実施し、社会性の能力向上を目指し取り組んでいる。(別紙参照)

この授業を通して、毅然とした判断ができるようになることよりも、関係を壊さずに、また相手の気持ちを大切に話した話し方について考えさせたい。

(3) 資料について

「チエコ」は「私」の友達である。彼女はとても勝気な女の子で、「私」は日頃から彼女には意見できないでいる。そんなある日、いつものようにおしゃべりをしていると、「チエコ」が突然その場にいない友達のカヨコの悪口を言ってきた。「私」は「チエコ」とも「カヨコ」とも仲良くしたいのだが、そのことを言ってもいいのか、またどう伝えたらいいのか、迷ってしまう。この授業では、「情報モラル」に関連させた授業展開にするために、「チエコ」からの返事の催促がメールで届いたという設定にしている。

資料では、二人の友人と仲良くしていきたいのだが、リーダー格のチエコには言いにくいと思っている「私」の気持ちに十分共感させる。その後、相手の気持ちを尊重しつつ、自分の考えを伝える方法やどんな話し方が適切かなど、具体的な解決策を考えさせる。最後に自分のこれまでの行動を振り返り、今後の生活の中で実践しようとする気持ちを持たせる資料である。

(4) 指導の方向

導入では、展開にできるだけ多くの時間を確保するために、事前に本時のねらいに迫るアンケートを実施し、その結果を提示することで学習への意欲を持たせる。

展開前段では、資料の内容を理解した上で、3人が今後も友人関係を保てるためにはどうするのかを、班ごとに話し合う。事前アンケートにて個人の考えを持たせているので、それを踏まえて意見の交流をさせたい。

展開後段では出された意見の中から、「対面で直接伝える」「メディアを用いて伝える」「その他の方法で伝える」という3つの方法をロールプレイする。そのことで、人間関係を壊すことなく、相手の考えも尊重した上で、自分自身の考えを相手に伝える、適切な言動について考え、実践できるようになると考える。

3. 情報モラルとの関連

1. 情報社会の倫理 発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ
a3-1 他人や社会への影響を考えて行動する。

4. ねらい

友達の気持ちを考慮した、適切な言動について考え、よりよい人間関係を築こうとする態度を育てる。

5. 資料名 「友達」 (一部改訂)

(参考資料：明治図書 『小学校 道徳授業で仲間づくりクラスづくり
モラルスキルトレーニングプログラム』 林 泰成 編

集)

6. 学習指導過程

段階	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	教師の支援
導入	1. 本時の学習について知る。	○「もしあなたがその場にはいない友達の悪口を言われたとします。今のあなたの気持ちを考え、書いてみましょう。」というアンケートの結果を発表します。 <ul style="list-style-type: none"> ・一緒に言ってしまう ・話を変える ・「そう思わない」とはっきり言う。 	
展開前段	2. 資料の内容を理解する。 3. みんなが仲良くいられるためにはどうしたらいいかを考える。	○次の話を聞いて、困っている人にアドバイスをしてあげましょう。 ○3人がこれからも仲良くいられるにはどうすればいいか、班ごとに話合しましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・すぐにメールで返信する ・メールは使わず、電話で話す ・会って話す ・反応しない ・反論する ・相談する ・なぜそう思っているのか聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面を具体的にイメージできるように場面絵を使う。 ・グループに短冊を配付する。 ・短冊に書くことは、手段でも実際に話す言葉でもよいことを伝える。
展開後段	4. 発表する。	○書いた短冊を黒板に貼り、どんな意見が出たかを発表してください。 」	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて短冊を移動させ、意見をまとめる。 ・対面で話す場合と、メールで伝える場合については必ず取り上げる。
終末	5. 感想を発表する。	○今日の授業で感じたことや考えたことを発表してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・これからは、相手の気持ちも考えながら、自分の考えを言えるようにしたい。 ・相手に言いにくいことは、直接言うよりも、電話やメールを使うと気持ちが楽だと思った。 ・友達に、悪いことを気付いてもらいたいので、これからははっきりと言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの生活を振り返り、よりよい友達関係を築くためにはどうしたらよいかを考え、発表させる。

7. 評価

- ・相手を傷つけずに自分の考えを伝えるには、どうしたらよいかを考えることができたか。
- ・自分の気持ちだけでなく、相手の立場も尊重した言動を心がけて生活しようとしたか。

8. 板書計画

3人がこれからもうまくいくには？		
<p>感想</p> <ul style="list-style-type: none">・相手の気持ち自分の考え・電話やメールも一つの方法相手のためにも <p>「はっきりと言う」</p> <p>←</p> <p>いい友達</p>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<p>★ もっと もっと いい友達に</p>		

チエコさんは、わたしの友達。言いたいことははっきりと言う、いつも元気いっぱいでも積極的に取り組む女の子です。

ある日の休み時間。いつものようにみんなでおしゃべりをしていました。いろいろな話でもりあがっていた時、チエコさんがふとわたしに言ってきました。

「カヨコって、むかつくよね。」

カヨコさんは、私が幼稚園の時からずっと仲良くしている友達で、困ったときはいつでも頼りにしている女の子です。

いつも一緒に行動しているのですが、今日は委員会の仕事でたまたまその場にはいませんでした。

私はなんと答えたらいいか、言葉が出ませんでした。「どうしよう…」と困っていると、

「キーンコーンカーンコーン」

先生が教室にやってきたので、急いで席にもどりました。

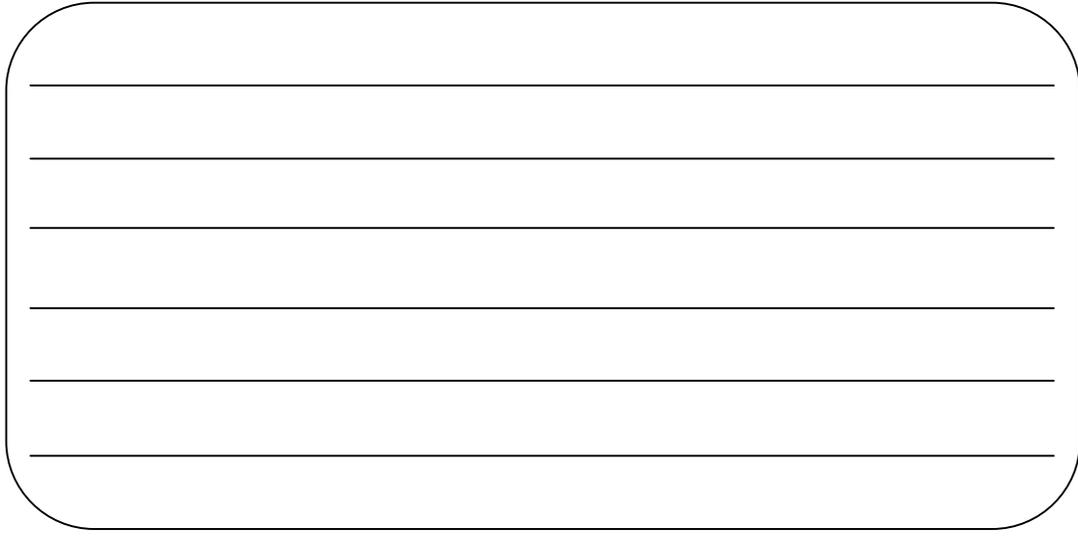
その後、いつも通り、チエコさんとカヨコさんと3人で家に帰りました。もちろん、カヨコさんの悪口は、チエコさんの口からは出てこなかったの、ほっとしていました。

その夜、チエコさんからメールが来ました。

「ねえ、「カヨコってむかつく」っていう話の返事、聞かせて。どうなの？」

ワークシート

★今日の授業の感想★



番 名前 _____